



2011 ~ 2012 年度  
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity  
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	亀井 孝	理事	近藤 賢司	役員	会 長	亀井 孝	S A A	木村きぬゑ
〃	高宮 勝美	〃	平野 英壽	副会長	高宮 勝美	直前会長	木村きぬゑ	
〃	森 宗明	〃	津末美代子	幹 事	森園 伸也			
〃	村津 忠久			会 計	河村 貴雄			

VOL. 24 -22  
2011年12月6日

## 第 1076 回 例 会

会報委員長 大島由美子

◆点 鐘 12:30

◆体 操 自律神経強化体操

◆国 歌 君ヶ代

◆R S 奉仕の理想

◆唱 歌 星の世界

◆B. G. M 「麗しきムードピアノの世界」より  
ロンドンデリーの歌  
大きな古時計  
グリーンスリーヴス 他

◆ゲ ス ト グエン・ティ・ツイ・ユンさん  
(米山奨学生)

◆ビジター 笠木 隆弘 (別府東RC)

◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本	会 員 総 数	25 名
日	出 席 者	18 名
の	事前メイクアップ	1 名
出	理 事 会 承 認	1 名
席	出 席 免 除	2 名
	欠 席 数	3 名
	出 席 率	78.26 %
前	出 席 率	72.73 %
々	事後メイクアップ	1 名
回	理 事 会 承 認	1 名
の	出 席 免 除	2 名
訂	修 正 出 席 率	82.61 %
正		
11/22		

連 続	- 回
通 算	743 回 100 %

### ・メイクアップ

事前 高宮 (R財団セミナー)  
事後 梶原 (大分南)  
欠席 梶原、堀、岐部  
出席免除 溝部、梅津  
理事会承認 梶田



会長の時間

会長 亀井 孝

早いものでもう12月になりました。旧暦の月名を「和風月名」と言うそうで、12月は皆様ご存知の「師走」です。

「師走」の由来は諸説あります。

・師馳月（しはせづき）

年の瀬の読経のためにあちこちに呼ばれ、法師も馳（はせ）走る月

・歳極月（としはすづき）

歳の終わり、「歳果（は）つる月」の意味

・為果月（しはつづき）

農事の全てが終わる月。為（し）果つ月の意味。などですが、どれも「歳（年）の終わり」の意味です。

和風月名の多くが自然の変化や農作業に関係した名称であるため、現在の暦に合せると少し季節のズレが発生するのですが、師走に限っては、「年の終わり」という人間の社会生活に、より重点の置かれた言葉であるため違和感が無く、新暦にも定着したのでしょう。

会長を務めさせていただき、半年が過ぎようとしています。これも皆様のご協力のお陰と感謝しております。後半年、無事に会長としての「歳の終わり」を迎えられますよう精一杯努力いたしますので、よろしくお願いたします。

平成24年3月9日（金）

15：00～17：30

会長・幹事・G補佐会議及び

地区指導者育成セミナー

18：00～20：00

R I 会長代理歓迎晩餐会並びに希望交流会

会 場 熊本市「熊本キャッスルホテル」

登録料 会員・家族 10,000円

平成24年3月10日（土）

9：30～16：20 地区大会本会議

16：30～ クラブ間交流懇親会

会 場 熊本市「崇城大学市民ホール」

登録料 会員 8,000円 家族 5,000円

4. 11月29日（火）18：30～ホテルサンバリーに於いて市内4RC会長・幹事会が開催され、亀井孝会長と森園伸也幹事が出席されました。

5. 12月3日（土）13：00～大分県教育会員多目的ホールに於いて、ロータリー財団セミナー（未来の夢計画勉強会）が開催されました。  
出席者：平野英壽地区財団学友委員、高宮勝美副会長

6. 本日の例会終了後、『第6回定例理事・役員会』を開催します。

7. 委員会報告

・ロータリー探究：

No.268「家族月間にあたって」

鳴海淳郎R情報委員長より

8. お祝い

結婚記念日 鳴海淳郎会員（12月12日）

\*ご自宅にお花が届きます。

9. 例会変更のお知らせ

大分臨海RC 12月19日（第3月）の例会は、年次総会・年末親睦家族会の為 同日

幹事報告

幹事 森園 伸也

—家族月間—

1. 本日の卓話

「会員卓話」後藤 隆会員

2. 本日のゲスト

グエン・ティ・ツイ・ユンさん（米山奨学生）

3. 2011-12年度国際ロータリー第2720地区「地区大会」のご案内



18:30～大分全日空ホテルオアシスタワー21Fに場所変更

大分1985RC 12月19日(月)の例会は、年末チャリティー家族の会の為 同日18:30～エクセレント・アベニューに時間・場所変更

大分中央RC 12月21日(水)の例会は、クリスマス家族例会の為 同日18:00～大分第一ホテルに時間変更

大分城西RC 12月21日(水)の例会は、クリスマス家族例会の為 同日18:30～大分全日空ホテルオアシスタワー5Fに時間・場所変更

中津中央RC 12月20日(火) } の例会は中津3  
中津RC 12月21日(水) } クラブ合同忘年  
中津平成RC 12月22日(木) } 会為 12月20日  
(火) 18:30～グランプラザ中津ホテルに変更

湯布院RC 12月21日(水)の例会は忘年会・家族例会の為 同日18:30～由布両築に時間・場所変更

10. 次週の予定  
「年次総会」

11. 本日の回覧

- ①ロータリー家族月間「地区合同清掃活動」出・欠席(12月11日)
- ②「忘年会」出・欠席(12月20日)
- ③「新年家族会」出・欠席(1月10日)

12. 本日の配布

- ①週報 No.1074、1075
- ②ロータリーの友12月号

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

○森園会員

先週火曜の夜、亀井会長の『納豆売り』に感動しました。

○平野(英)会員

12月3日、ロータリー財団セミナーに行ってきました。

未来の夢計画の講話を第2750地区財団副委員長高橋茂樹氏の話聴いて来ました。詳しくは又、もうちょっと理解してお知らせします。

○鳴海会員

私は1953年12月12日に結婚しましたが、本日は結婚記念日のお祝いをいただき感謝してスマイル致します。

○村津会員

愈々12月です。12月と言えば「ベートーベンの第九」ですが、例年延岡で一回、大分で一回なのが、今年は延岡がある映画製作の為に3日に亘って第九を演奏する事になり、12月16日(金)、17日(土)、18日(日)と3日連続となりました。

全ての成功を祈りスマイル致します。

○衛藤会員

いよいよカレンダーも一枚になりました。

今年は思いなしか、ジングルベルの曲が街にあまり聞こえない様です。今日は笠木様ようこそ。お店もきれいになって良かったですね。どうぞごゆっくりなさって下さい。

ユンさんお久し振り。どうぞよろしく。

○河村会員

風邪を引いて少し声がハスキーになりました。また、気持ちを引き締めて年末に向かいます。

○森会員

亀井会長年度のあと半年の無事を心から祈って!

○中尾会員

約2ヶ月ぶりの出席です。おわびしてスマイルします。



## ○大島会員

高円宮家根付展の講演、レセプションパーティーにご参席をお祈りしてスマイルいたします。

## ○平野(教)会員

父親が入院し、家族でてんこまいの状態になっています。わがままな父を見ながら嫁が一言、「あなたも同じようになるのかなあ」に答えられず、父の回復を祈りスマイル。

又、明日のゴルフ（亀井会長と同じグループ）平野様おてやわらかに！

## 卓 話

後藤 隆

## 『幸運の女神のうしろ髪』

夏目漱石の小説『吾輩は猫である』に出てくる苦沙弥先生（くしゃみ）は漱石自身をモデルに書かれています。大変な癩癩もちだった漱石は自身の性格ゆえにストレスを溜め込み易く、重度の胃弱に悩んでいました。小説の苦沙弥先生も胃弱で、よくタカジアスターゼを小説の中で飲んでいました。

このタカジアスターゼは日本人の科学者・高峰讓吉博士が研究開発しパークデービズ社から発売され、当時アメリカで大好評を博していました。シカゴの日本領事館のパーティーにたまたま出席してこの薬を紹介され、その効果に驚いた日本茶貿易商の西村庄太郎は友人である塩原又策・福井源次郎を誘い日本での販売権を三人で共同出資して買い取り、三共商店として売り出し大変な利益をあげたのです。これが後の株式会社三共で現在は第一製薬と合併し第一三共株式会社に成長し、なんとその年間売上は1兆円です。西村がこの良薬を、何箱かお土産として買って帰っただけなら、今の第一三共株式会社は存在しなかったのです。幸運の女神の後ろ髪を見事につかんだことになります。

私は後ろ髪だけでなく前髪も欲しい…欲深すぎですかね（笑）

## 会員コラム

森 宗明

## 『天国地獄どこにあるの』

私の祖父はお寺のお坊さんでした。つまり私の母はお寺の娘、当然門前の小僧習わぬ経を読む、で私も素人よりすこしは経を知っていると思います。

私が小さい頃日曜日には檀家の子供たちがお寺に集まってきて和尚の説教を正座して聞きます。もちろんお目当ては説教のあとのご褒美お菓子でした。その他にも何かにつけて近所の人はお寺に集まって来ていました。困りごと、仲裁などなどなにからなまでに祖父は引き受けていたようです。忘れもしません私が六歳のころ、祖父が早朝いきなり葬式の準備を始めます、家族はとうとうじいちゃんもおかしくなったと思っていると、やがて檀家の人々が挨拶に来て、夕べうちのじいさんが無くなりましたのでよろしく願います、す

ると祖父はお前とこのじいさんが夕べ挨拶にきたぞ、すぐ行くから待っておれ。

そんな祖父が話してくれた事ですが、宗明よ、天国や地獄はどこにあると思う、死んでからいくところでは無いぞ、天国も地獄もお前の心の中にある、今生きているお前がきめるのだ、何かが起きた時それを天国にするか、地獄にするかはお前が決めること。全てお前が自分で決めること、天国も地獄もこの世にある、お前の中にある。

この年になって全くそうだと思います、起きている事がらが一緒でも、受けとりようで心の在り様で天地の差がでる。天国も地獄もこの世に自分で作るものと言う事が今この歳になると理解できます。どう生きようと人生は一回きり、「ねたまず、傷つけず」天国に暮らしたいと思います。